



## 海外生活 だより

北京事務所

# 北京日本人会の活動について

(一財)自治体国際化協会北京事務所次長  
平澤 雄一郎 (兵庫県派遣)

## はじめに

外国の諸都市の中で日本人が多く暮らす都市のほとんどには日本人会があります。ここ北京も例外ではなく、1989年に発足以来活動を続けています。昨年度は、日本人会の改革元年といってもよいくらい、「開かれた日本人会」をモットーに会員外であっても参加できる行事、中国人との交流を意識した取り組み、日本人留学生への支援など多くの活動が活発に行われました。そんな日本人会ですが、約60人いる理事の一人として、今年の4月から会のお手伝いをするようになりました。理事会というと緊張しますが、文字通り微力ながら会の運営のお手伝いができればと思っています。

そこで、今回は、海外に暮らす日本人には馴染みの深い日本人会について北京の実例をご紹介します。

## 北京日本人会の概要

北京日本人会（以下、日本人会）は発足以来、会員相互の親睦などの活動を行ってきました。

会員数は、転勤に伴う毎月の変動が大きいのですが、年間を通じて多いときでも約1,100人と、現在北京に暮らす日本人は約1万人といわれている中では、意外と多くありません。

会員資格は、18歳以上で日本国籍を有し北京在住または在学というものですが、最近は、「入会することでどのようなメリットがあるのか？」という質問が多らしく、会費を払うからにはそれ相当のメリットを期待し、入会をためらう傾向が

強くなっているようで、「とりあえず入っておこう」といった感覚の強い私のような中高年世代との感覚のズレを感じるどころです。

しかし、このズレを放置しておくわけにはいきません。日本人会の会員は、残念ながら減少傾向をたどっており、会費収入の減少に直結していることから、会の将来を懸念する声も出ています。

こうしたことに加え、昨今の緊張した日中関係や冬には特に悪化する大気汚染、鳥インフルエンザなど、中国駐在の日本人を取り巻く環境は厳しいものがあるため、より一層の日本人相互の連携を深めるとともに、日中友好にも一役買うことを意識して、今年度は、「開かれた日本人会」、「日中親善交流事業を強化した日本人会」、「日本人のプラットフォームとしての日本人会」を活動の柱に据え、精力的に事業を展開しています。

会の運営から行事の企画・実施にいたるまで、日本人会の活動は会員自らのボランティアで行われています。

## 具体的な活動

日本人の相互の親睦を図るという会の出発点ともいえる活動は、年間事業計画の中でもやはり一番多く企画されています。

日本人会秋祭りは、年間で最大のイベントです。毎年9月頃に、日本人学校の校庭を一日お借りして、各種ステージ、企業やグループの模擬店、チャリティーイベントなど内容も盛りだくさん。毎年数百人の参加がありますが、日本人以外の入場者も多く、秋の半日をにぎやかに過ごします。



模擬店の様子（北京日本人会提供）

一方で地道な活動もコツコツと行っています。情報提供は、メールマガジンや講演会という形式で行われています。新型のインフルエンザや大気汚染の情報など、日本大使館の発表する公式な情報を中心に、登録したメールアドレスにはほぼ毎日のように日本人会からのメールが届きます。その中には行事の案内や実施報告もあって、ただ単に案内をするだけではなく、どのように実施されたのかという報告は、次回に行くかどうかを検討している人への追加の情報提供であるとともに、行事の実施に協力をいただいた企業、団体や個人の方へのお礼でもあります。行事の中には、ゴルフや各種文化教室、工場や農園の見学会など、北京における生活をより豊かに、より楽しいものにしてくれる企画が次々と企画・実施されていきます。

このほかにも、農村部における学校建設や孤児院運営などに対し募金や寄付を行う各種の福祉活動や、北京で学ぶ日本人留学生を対象とした就職説明会など、会の活動は実に多岐に渡っています。

## 図書室

日本人会の文化活動の中心となっているのが、日本人会図書室（以下、図書室）です。私たちの事務所も入居するビルは、ほぼ日本または日系の企業、団体で占められており、その1階に図書室があります。個人や出版社からの寄付を中心に小説、雑誌から漫画、DVDなどさまざまな種類の貸し出しを行っています。蔵書数は約2万5,000

点あり、日中双方の作品が所狭しと開架されています。

実はこの図書室には、クレア東京本部や在中国の各自治体事務所から送られてきた都道府県や市町村の観光パンフレットも置いていただいています。狭い図書室の中、需要の多い図書や雑誌に混じって、雑誌の棚に置かれた新潟市のパンフレットわずかではありますがスペースを確保いただき、順次、ふるさとの情報として利用者の皆さんにご提供していければと思っています。



図書室入口



## さいごに

海外に暮らす人々にとって不安はつきもの。日本人会に所属することで、より多くの情報を得たり、日本ではなかなかお知り合いになれないような方とも一緒する機会を得たりと、そうした不安が解消されたという方も多と思います。

自分に対する見返りを考えて入会を考えるのではなく、同じ日本人として日本人コミュニティーにどう関わられるか、どう貢献できるか、日中友好にどれだけ携われるか、そうした積極的な視点で会に参画する人が一人でも増えて欲しいと思います。

北京事務所の職員もいずれは帰国するわけですが、自分自身が海外で暮らすうえで不便に感じたことや、困ったことなどをしっかりと、帰国後には逆に地域の多文化共生に生かしてくれることを、外国に住むことの不安や不便を実際に知る者として、自治体や地域の国際化に貢献できることを期待しています。